

早池峰地域（^{にぎりさわ}握沢地区）に^{ぼうろくさく}防鹿柵（植生保護柵）を設置しました

令和6年8月30日

岩手県宮古市 ^{かどま}門馬山国有林 323 と林小班外

「早池峰山周辺森林生態系保護地域」周辺では、ニホンジカによる希少植物の食害が拡大しており、貴重な植物への影響が懸念されたことから、地域住民等で構成される「早池峰地域保全対策事業推進協議会」と連携した防鹿柵（植生保護柵）設置等の取組みを行っています。

第一弾として、5月16日時折小雨が降る中、宮古市の協力を得て、現地の自然公園保護管理員にも同行いただき、平成30年度から継続している植生保護柵の設置作業を16名（うち署職員14名）で行いました。

早池峰山頂への握沢コース登山道を1時間30分ほど歩き、2カ所の植生保護柵の設置やセンサーカメラ2台の設置をするとともに、この日は、食害を受けながらまだ保護していなかった希少植物を守るため、4カ所に植生保護柵を設置する準備を行いました。



その後、設置に当たっての手続きを行い、6月11日、暑さを感じるほどの好天に恵まれた中で、この日も宮古市自然保護管理員に同行いただき14名（うち署職員12名）で新たに植生保護柵4カ所（約70m）の設置とセンサーカメラ2台の設置を行い、これまで食害を受けてきた植物が勢いを回復し、多くの葉を広げ、花を咲かせるようになることを願って現場を後にしました。



門馬登山口を出発！





以下の写真は、今年度設置したセンサーカメラに映ったニホンジカの様子です。

撮影された映像では、植生保護柵内の餌となる植物を求めてやってきたニホンジカが柵周辺を行ったり来たりした後に諦めて姿を消しており、植生保護柵の設置が効果的であることが確認できます。

今後も早池峰山周辺の希少植物を守っていくため、植生保護柵の効果を検証しながら、ニホンジカ対策を継続して参ります。

